

2001年に私が作成しました論文「居住環境計画における屋外環境デザインの視点からの考察」より、北国のまちづくりに関する概要で、特に居住環境における屋外環境デザインについてご紹介させていただきます。

積雪・寒冷の北海道における居住環境づくりを進めるにあたり、大きく3つの基本的視点から考察いたしました。

■ 北海道の居住環境づくりにおける3つの基本的視点

1. 快適環境づくりの視点(自然・景観・まちづくり)

[キーワード]

- ① 緑・水などのアメニティ環境の整備
- ② 地域らしい街並景観の形成
- ③ 地域コミュニティ形成とまちづくり

[考え方]

- ・ 地域の気候・地形、歴史・文化、景観等の地域資源を読みとり地域にふさわしい居住環境計画を検討する。
- ・ 緑の量感、緑の効果的配置、緑の樹種選択など、街並みと調和する街区レベルの緑の演出で、町の個性や雰囲気形成する。
- ・ 既存の樹木や樹林、防風・防雪林を景観形成に活用し、地域にふさわしい緑環境を創出する。
- ・ 緑の連続性や公園・緑地の緑とのネットワーク化を図り、地域に適した樹種の選定で季節感を形成する。
- ・ 道路軸や景観の視線軸を活かした、地域アイデンティティある認識しやすい居住環境づくりを図る。
- ・ 街並景観を構成するエレメントのデザインの秩序化を図り、街区や街路に視覚的まとまりを創出する。
- ・ 快適な居住環境形成は、美しい街並景観を創出し、地域住民の地元への愛着心やふるさと意識を成就し、質の高い地域コミュニティを形成する。
- ・ 地域のまちづくりをサポートする人材育成とまちづくり手引き書が必要である。

2. 福祉のまちづくり

[キーワード]

- ① 高齢者、障がい者、妊産婦、子供等、ハンディキャップの視点で考える
- ② 安全・安心で自由な活動ができるバリアフリー化
- ③ 誰もが認識できるまちのサイン・情報システムの構築

[考え方]

- ・ 車と人の関係に考慮した、安全で楽しく歩ける歩行者空間を整備する。
- ・ 障がい者、高齢者、妊産婦、子供等、日常生活で何らかのハンディキャップを持つ人々が、自由に活動できる都市空間のバリアフリー化をめざす。
- ・ 冬期間の歩行者空間の安全性の確保を図る。
- ・ 公共施設と歩行者専用道、緑道、サイクリングロード等のネットワーク化をはかる。

3. 北方型(積雪・寒冷)のまちづくりの視点

[キーワード]

- ① 雪や寒さに強い都市づくり・居住環境づくり
- ② 雪や寒さに親しみ、楽しみ、活用する、生活文化や都市環境づくりを提案する。
- ③ 利雪・新雪で地域の総合的活性化の促進

[考え方]

- ・ 屋根雪の落下や宅地内の雪の除排雪は、敷地内での雪処理が原則である。
- ・ 前面道路へ敷地内の雪を除排雪しないよう、消融雪装置の採用を各戸で検討する。
- ・ 地域が連携して道路の除排雪をしたり、堆雪スペースを確保する。
- ・ 雁木やカバード化された歩行者道路、流雪溝の設置など、地域に適切な手法の検討と地域エネルギーの活用をはかる。
- ・ 冬に親しみ、楽しむ生活文化の育成と、都市空間や居住環境の施設づくりを図る。

□ 北方型の居住環境づくりにおける目標像

■ 項目	■ 快適環境づくりの視点 (自然・景観・まちづくり)	■ 福祉のまちづくりの視点	■ 北国(積雪・寒冷)のまちづくりの視点
1. 街路空間	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な道路緑化で道路の質の向上を図る 道路空間の工作物(街路灯、歩道橋、分電盤など)は、時間的変化に耐えうる普遍的デザインを考慮する 道路空間のグリーン化に適した、街路樹の樹種選定と工作物のデザインを行う 電柱/電線類の地中化で歩道上の除外物を撤去 歩行者空間やサイクリングロードのネットワーク化を図り、人や自転車にやさしい、環境に配慮した道路づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子がすれ違い、歩行者が安全に通行できる道路幅員の広い歩道の整備 路面の凸凹や段差を解消して滑らない素材を選択 高齢者、障害者、子供が認識できるサイン・サインシステム 視覚障害者や弱視者への視覚障害用ブロッカの設置 公共交通機関と道路の段差の解消で乗降の容易性 交差点、T字路、三叉路等交通の結節点のバリアフリー化 緊急災害時への障害者誘導マップが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間の一般道路の歩行者道路の確保と安全性 路面凍結による歩道や横断歩道の滑りの防止 ロードヒーティング施工と未施工境界部分の段差の解消 道路脇の雪堤の解消 坂道の歩行者や車の滑り防止対策 サインや標識類の雪の付着による情報の隠蔽を防ぐ 雪や寒さに強い歩行者空間のネットワーク化を図る(スカイウェイ、地下空間、コブドール、パサージュなど)
2. 公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の景観や環境、日照や防犯等に配慮する 地域の居住年齢層に適した、子供も高齢者も共有できる公園を計画し、家から歩行可能範囲設置 水辺空間および周辺の自然生態系や景観を保全する公園計画と整備が必要。環境の事前調査が大切 公園の長期的運営・管理を含めて地域の住民参加で公園デザインの及び公園利用のワークショップを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 公園内の遊具やトイレは身障者・高齢者の利用に配慮しバリアフリー化を促進する 緑や花のよる癒しの効果を公園デザインに期待する 斜路や階段には木製手摺りの設置 水辺空間へのアプローチは木道や木製デッキを設置 気軽に憩えるベンチやイス、ベンチ、四阿等の設置 障害のある子供も使用できる遊具のデザインと設置 	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間の公園活用が可能な公園デザイン(筑山など) 冬期間に危険のない木製遊具の設置 冬期間に雪捨て場にしない公園のデザイン 階段斜路には握りやすい木製手摺りの設置と、凍結や雪で滑らない構造と素材の選択 水辺空間を臨むバードウォッチ用の木製デッキや木扉待避小屋を設置
3. 街並景観	<ul style="list-style-type: none"> 街並景観を構成する諸要素について、街区や街路で統一する要素と住宅の個性を表現する要素を認め、落ち着いた景観の居住環境づくりを図る 道路空間と民地の中間領域は、緑や花で修景緑化し、街並景観に美しさと潤いを創出する 住民参加で地域の景観資源を確認し、街づくりや景観形成を話し合い、まちづくりの人材育成を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 街路空間の凸凹や段差の解消を図る 商店や民家の前面に歩行者の邪魔になる置き看板や自転車を放置せず、安全な歩行空間を確保する 地域のゴミ処理やゴミ置き場の清潔な維持管理 地域の落ち葉やゴミ清掃を積極的にを行う市民意識 	<ul style="list-style-type: none"> 階段、斜路は、凍結や雪により滑らない素材選定 冬の街並景観形成に配慮した針葉樹と落葉樹の樹木・樹種の選定で、冬も美しい景観形成を図る 雪景色に映える照明やバルコニー等で、冬の暮らしを楽しく演出する 除排雪がされていて、安全に歩行できる街づくり
4. 住宅地環境	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地の街並景観形成に配慮した宅地周りのデザイン 敷地条件を読み込んだ配置計画と建物形態のデザイン 地域の気候/風土を活かした建物形態と家並景観 日照、通風、眺望、プライバシーに配慮した相隣環境 冬期間の多目的利用が可能な居住空間の確保(地下室、屋根裏部屋、サンルーム、風除室など) 住宅の前庭及び玄関アプローチ部分を緑や花で修景緑化 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の内部空間のバリアフリー化 段差の解消、手摺りの設置、滑らない床材の使用 水平方向への移動が容易な凸凹のない床の連続性 開口部や間仕切り間の開口部はゆとり寸法 冬期間の玄関から公道までのアプローチ方法を検討する 堆雪による公道と宅地部分の段差の解消 	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間は各住宅の敷地内雪処理が原則 雪が公道や隣地に落雪しない屋根形態 雪にも緑にも映える建築素材と色彩の選定 公道から玄関へのアプローチ部分の除排雪とアクセシビリティ 雁木などがバード化されたアプローチ部分のデザイン 雪景色の映える照明やバルコニーによる夜景の演出
5. 公共空間	<ul style="list-style-type: none"> 地域の気候/風土、歴史/文化に調和する建物形態 地場産素材を建物デザインに利用(石、木材、レンガ等) 四季に呼応した憩いのオープンスペースの演出と活用 市民の共有財産となる地域の風土・歴史・文化に調和する地域景観に沿った建築物デザインとランドマーク性 機能的な通行動線と人が集える場のゾーニング計画 初めての来訪者が認識できる地域のサイン計画 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが容易に利用できるバリアフリーの建物デザイン 誰もが認識しやすく、解りやすいサイン/情報の提供 使い勝手がシンプルで安全で容易なスロープ/エントランス ユニバーサルデザインの理念を具現化する公共建築物と公共空間 段差の解消とスロープの設置 握りやすい手摺りの設置 	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間も活動できる公共空間のバリアフリー化 冬期間も公共建築物へのアクセスが容易な公共交通機関の存在とネットワーク化 トリウムやサンルーム、温室や温水プールなど、冬期間に地域で共有できる公共空間のある住環境づくり
6. コミュニティ形成	<ul style="list-style-type: none"> 地域にふさわしい住環境づくりとコミュニティ形成を図る 地域住民による美化運動、緑化運動 住民主体の環境管理(ゴミ置き場、公共空間等) 地域ぐるみで祭り・イベントの企画・実践 地区計画・建築協定等でルールあるまちづくり まちづくり NPO 活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が支援する福祉のボランティアシステムの整備 地域に住む高齢者や身障者への訪問や生き甲斐づくりと、ヒューマンな近隣関係の育成 様々な年齢層が居住できる宅地規模や住宅形態が共存する、柔軟な地域コミュニティが可能な住環境 ユビキティハウス(共生型集住)やグループホーム型老人施設等、高齢者のコミュニティ形成が図られる手法の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 雪かきコミュニティの形成(地域ぐるみで除排雪に取り組み、高齢者・身障者・子供が安心して歩ける歩行者路の確保を目指す) 冬や雪を楽しむイベント開催(雪像づくり、歩くスキー大会、ソリ大会) 雪かきボランティアなど、高齢者、身障者住宅等の除排雪を地域で支援する